

# はじめに

自己紹介は良好な人間関係を築く上で極めて重要な役割を果たしています。入学、進学、留学、就職、転職、転勤といった人生の重要な節目はもちろん、日々の出会いにおいても頻繁に繰り返される自己紹介で、私たちは自身に関する基本的な情報や背景をたえず伝えているのです。もし、そうした自己紹介がなければ、相手に関する十分な情報を得ることができず、信頼関係の構築はおろか、友情へと発展する機会さえも大いに制限されることでしょう。すなわち、自己紹介は私たちが相手に最初の印象を与える重要な機会であり、その良し悪しによって、相手への印象は大きく左右されてしまうのです。

凡庸な自己紹介は人の心を動かすことができませんが、印象的な自己紹介はその後のコミュニケーションや人間関係の有様に大きな影響を与えるはずで、自分を的確に伝えることで、人はあなたをより理解し、あなたとの良好な関係を築くことができるのです。名前をはじめ、バックグラウンド、専門分野、スキル、経験などに関する情報を伝えたり、興味や趣味、あるいは将来の目標やモットー、価値観、夢などを語りたりすることで、私たちはそれぞれが持っている個性や特徴を示すことができ、やがては共通の話題から友情や信頼関係へと発展し、多種多様な活動へとつながっていくわけです。いわば、自己紹介は単なるお決まりの儀礼ではなく、相手に対するリスペクトであり、自分のアイデンティティーを表現するための大切な機会、コミュニケーションを円滑に、そして豊かにするための効果的な手段ということです。

では、コミュニケーションの基盤を築き、友好的人間関係を構築する上で大切な自己紹介はどうあるべきなのでしょう。相手に好印象を与える上手な自己紹介を行うにはどんなことに注意したら良いのでしょうか。それは、どのような場で行われる自己紹介かによって異なりますが、いずれにしろ、その場において求められている自身に関する必要な事柄を、曖昧、複雑な表現を避け、簡潔明瞭にシンプルな表

現で伝えることです。コミュニケーションを進める助けとなる共通の興味や、自分のユニークで興味深い側面、強みや独自性を的確に話すことが肝要です。弱点や失敗など、ネガティブな印象を与える話題に執着したり強調したりすることは、相手に誤解を与えかねず、不快感を抱かせる結果に至ってしまうかも知れません。また、その場の状況に応じた言葉選びと親しみやすいボディランゲージを意識することも極めて大切でしょう。カジュアルな環境ではフレンドリーな表現を、プロフェッショナルな環境ではフォーマルな表現を心がけ、友好的な雰囲気醸し出す笑顔や適切なジェスチャーなどを活用することで、あなたに対する好感度はきっとアップするはずです。

最後に、言語がコミュニケーションの最も有効な手段である限り、どの言語を学ぶにせよ、言語学習における「自己紹介」は基本中の基本であり、決して欠かすことのできない重要な活動です。自己紹介を繰り返し練習することで、基本的な文法、表現、発音など様々な言語要素を実際のコンテキストで学ぶことが可能となり、実践的な学習を進めることで、自然な言語の習得や文化理解が可能になると断言できるでしょう。

本書では自己紹介に必要な多くの項目を取り上げ、それらに必要な不可欠な表現を執筆するとともに、自己紹介を受けての豊富な質問表現を加えています。さらには、豊かで実践的な学習ができるよう、用例を組み合わせて作成した自己紹介の実例や現実的な対話も収めています。もちろん、表現をより深く理解するための詳細な文法事項、曖昧で誤解しやすい語句、表現の意味やニュアンスなど、的確でわかりやすい解説への取り組みも忘れてはいません。英語の自宅学習はもちろんのこと、授業、留学、海外での語学研修や旅行、外国人との出会い、あるいは就職面接などで存分に活用して頂ければ幸いです。皆さんの成功を心から願っています。